

理念

病院概要

- 「年中無休・24時間オープン」で救急医療を提供します。
- 十分な説明と同意を心がけ、患者さんの意志を尊重した医療を提供します。
- 地域の医療機関との連携を密にして地域医療の発展に貢献します。
- 患者さんからの贈り物は一切受け取りません。
- 医療技術・診療態度の向上にたえず努力します。
- 患者さんの安全を常に考えながら医療を行います。
- 自分の家族にも受けさせたい医療を提供します。

生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院

基本方針

【名称】医療法人 徳洲会 宇治徳洲会病院【住所】〒611-0041 京都府宇治市横島町石橋145【連絡】TEL:0774-20-1111 FAX:0774-20-2336【開設】昭和54年12月【開設者】(医療法人徳洲会)理事長 東 震一【管理者】病院長 末吉 敦【病床数】479床【規模・構造】鉄筋コンクリート 地上10階 地下1階 延床面積 56,913.42㎡

【指定】救命救急センター/地域災害拠点病院/地域がん診療連携拠点病院/地域周産期母子医療センター/地域医療支援病院/DPC特定病院群/第二種感染症指定医療機関/厚生労働省指定臨床研修指定病院(医師)/厚生労働省指定臨床研修指定病院(歯科医師)/母体保護法指定医療機関認定施設/京都府肝炎治療指定医療機関日本ステントグラフト実施基準管理委員会ステントグラフト実施施設(胸部)/日本ステントグラフト実施基準管理委員会ステントグラフト実施施設(腹部)/遠木運動脈ステントグラフト実施施設/下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設 健康保険組合連合会指定/日帰り人間ドック実施施設/UAセンセン指定/日帰り人間ドック実施施設/エキスバンド実施施設インプラント実施施設

【診療科目】
内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、リウマチ内科、腎臓内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、心臓血管内科、人工透析内科、血液内科、小児科、外科、消化器外科、肝・胆・膵外科、こころ門外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、耳鼻いんご科、麻酔科、皮膚科、眼科、産婦人科、放射線診断科、放射線治療科、ペインクリニック・疼痛緩和科、緩和ケア内科、麻酔科(鬼頭秀樹)、歯科口腔外科、リハビリテーション科、救急科(救急総合診療科)、病理診断科、精神科

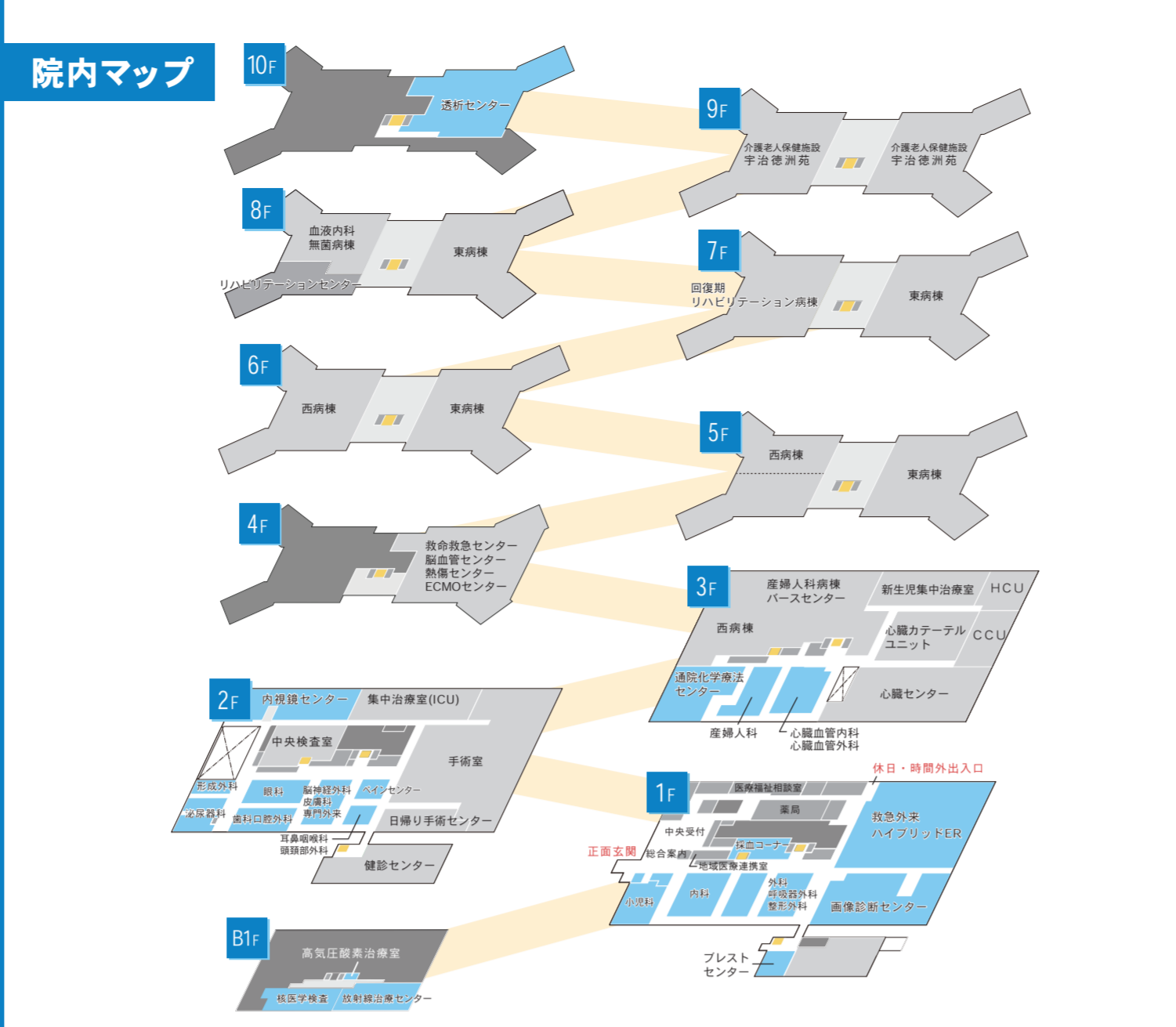
院内情報

ICU(集中治療室) 10床 救命救急センター 40床 回復期リハビリテーション 42床
総病床数 479床 NICU(新生児集中治療室) 9床 感染症病棟 6床 緩和ケア 12床
HCU(ハイケアユニット) 8床 急性期一般入院科 352床

新専門医制度
基幹施設指定状況

- 内科専門研修プログラム
- 外科専門研修プログラム
- 小児科専門研修プログラム
- 麻酔科専門研修プログラム
- 形成外科専門研修プログラム
- 産婦人科専門研修プログラム
- 脳神経科専門研修プログラム
- 耳鼻咽喉科専門研修プログラム
- 救急科専門研修プログラム
- 総合診療科専門研修プログラム
- 整形外科専門研修プログラム
- 眼科専門研修プログラム
- 泌尿器科専門研修プログラム
- 放射線科専門研修プログラム
- 病理診断科専門研修プログラム

院内マップ



アクセス

◆ 車でのお越しの場合

京滋バイパス宇治西IC下車
旧国道24号線(府道69号線)を奈良方へ
約500m信号(病院看板あり)左折

◆ 電車でお越しの場合

★最寄近鉄小倉駅下車…無料送迎バスで約10分
その他無料送迎バスもあります。
詳しくはホームページにてご覧ください。

医療法人 徳洲会
宇治徳洲会病院
〒611-0041 京都府宇治市横島町石橋145
http://www.ujtoku.or.jp © osamu@ujtoku.or.jp

UJI TOKUSHUKAI MEDICAL CENTER

救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
地域周産期母子医療センター
地域災害拠点病院
地域医療支援病院
DPC特定病院群
第二種感染症指定医療機関



医療法人 徳洲会
宇治徳洲会病院 UJI-TOKUSHUKAI MEDICAL CENTER



UJI TOKUSHUKAI MEDICAL CENTER

施設案内

心臓センター

心臓血管内科では、重症冠動脈疾患の治療に必要なロータブレード、重症不整脈に対する埋め込み型除細動器、重症心不全に対する心臓再同期療法等、最先端の治療を行なっています。急性心筋梗塞(急性冠症候群)に対するカテーテル治療チームが24時間体制で院内待機しております。心臓血管外科では、人工心肺を使用しない冠動脈バイパス手術、僧帽弁形成術、小切開での低侵襲手術、経皮的ステントグラフト等最良の手術を提供しています。

一次脳卒中コアセンター

24時間、365日救急患者に対して脳神経外科医が対応出来る体制を整えており、迅速に適切な治療を行なえます。くも膜下出血、脳出血、脳梗塞(いわゆる脳卒中)や頭部外傷疾患に対して開頭手術や血管内手術含めて最適な治療を行なっています。また未破裂脳動脈瘤、頸動脈・頭蓋内動脈狭窄症などの疾患に対しても積極的に予防的治療に取り組んでいます。脳腫瘍には手術だけではなく、化学療法・放射線治療の集学的治療を行なっています。

プレストセンター

プレストセンターでは、乳房の症状が気になる方や検診等で乳房の異常を指摘された方を対象に精査、診断および治療を行います。他の外来から少し離れたプレストセンター内には、少しでも患者様の不安や緊張が和らぐよう、ゆったりとしたソファとBGMで落ち着いた雰囲気待合室と診察室を設けております。他科や多職種とも連携し様々な病態の患者様に対応しております。

四肢接合センター

切断された指や四肢に、マイクロサージャリー(手術顕微鏡を用いて細かな神経や血管を操作する手術)による微小血管吻合を行って血行を再建し、血の通った生きた組織として生着させます。

回復期リハビリテーション

脳血管障害や骨折の手術などの急性期の治療を受けて、病状が安定し始めた発症1〜2か月の回復期と言われる時期に集中的なリハビリテーションを行うことは非常に有効です。回復期リハビリテーション病棟では、機能の回復や日常生活活動能力の向上による療養生活と社会や在宅への復帰を目的として、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士が共同でリハビリプログラムを立案、実行します。

緩和ケア

緩和ケアは「苦痛のある患者、家族に対しての疾患の早期より全人的ケアをする」と言われています。当院ではがんの治療中でも「苦痛症状」があれば緩和ケア科が関わりたいと思っております。終末期として「死の受容」を目指したケアも行ってゆきます。

各種指定

救命救急センター

二次救急で対応できない複数診療科領域の重篤な患者に対し高度な医療技術を提供する三次救急医療機関です。京都府で最も多い1,0000程の救急車を受け入れ治療しています。夜間でも17名以上の当直医師のほか、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師が2名当直など、重症患者の治療がスムーズに行われるような整備がされています。
ハイブリッドER

地域がん診療連携拠点病院

2019年4月1日付で、京都市以南の病院で初めて地域がん診療連携拠点病院に指定されました。地域がん診療連携拠点病院とは地域における、がんの治療と連携の中心となる病院です。全国各地でも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国にがん診療連携拠点病院が456箇所指定されています。これらの医療機関においては、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対するれます。

地域周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センターは産科と新生児科が連携しています。合併症、胎盤異常、早産、多胎や胎児に異常のある症例でも、分娩後から胎児には新生児科医師による最善の治療が開始されます。NICU(新生児集中治療室)は近隣の新生児搬送も受け入れ、安全なお産を支えます。

DPC特定病院群

当院はDPC特定病院群に指定されています。特定病院群(高診療密度病院)とは大学病院本院に準ずる診療機能を有する病院としてスタートしました。

救命救急センター

二次救急で対応できない複数診療科領域の重篤な患者に対し高度な医療技術を提供する三次救急医療機関です。京都府で最も多い1,0000程の救急車を受け入れ治療しています。夜間でも17名以上の当直医師のほか、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師が2名当直など、重症患者の治療がスムーズに行われるような整備がされています。
ハイブリッドER

地域がん診療連携拠点病院

2019年4月1日付で、京都市以南の病院で初めて地域がん診療連携拠点病院に指定されました。地域がん診療連携拠点病院とは地域における、がんの治療と連携の中心となる病院です。全国各地でも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国にがん診療連携拠点病院が456箇所指定されています。これらの医療機関においては、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対するれます。

地域周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センターは産科と新生児科が連携しています。合併症、胎盤異常、早産、多胎や胎児に異常のある症例でも、分娩後から胎児には新生児科医師による最善の治療が開始されます。NICU(新生児集中治療室)は近隣の新生児搬送も受け入れ、安全なお産を支えます。

DPC特定病院群

当院はDPC特定病院群に指定されています。特定病院群(高診療密度病院)とは大学病院本院に準ずる診療機能を有する病院としてスタートしました。

各種指定

救命救急センター

二次救急で対応できない複数診療科領域の重篤な患者に対し高度な医療技術を提供する三次救急医療機関です。京都府で最も多い1,0000程の救急車を受け入れ治療しています。夜間でも17名以上の当直医師のほか、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師が2名当直など、重症患者の治療がスムーズに行われるような整備がされています。
ハイブリッドER

地域がん診療連携拠点病院

2019年4月1日付で、京都市以南の病院で初めて地域がん診療連携拠点病院に指定されました。地域がん診療連携拠点病院とは地域における、がんの治療と連携の中心となる病院です。全国各地でも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国にがん診療連携拠点病院が456箇所指定されています。これらの医療機関においては、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対するれます。

地域周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センターは産科と新生児科が連携しています。合併症、胎盤異常、早産、多胎や胎児に異常のある症例でも、分娩後から胎児には新生児科医師による最善の治療が開始されます。NICU(新生児集中治療室)は近隣の新生児搬送も受け入れ、安全なお産を支えます。

DPC特定病院群

当院はDPC特定病院群に指定されています。特定病院群(高診療密度病院)とは大学病院本院に準ずる診療機能を有する病院としてスタートしました。

機材紹介

PET-CT

がんの広がりを調べられ、がんの早期発見もできる検査です。体に負担の少ない検査の実施を目指しています。PET-CT装置ではカメラの感度を高くすることで短時間撮影を可能にし、最新の撮影技術によって、ノイズの少ない高画質の画像抽出が可能です。

マンモPET-CT

乳がんの早期発見に有用な検査です。乳腺専用PET装置では、他の装置やマンモグラフィ検査のように乳房を圧迫(挟む)することなく検査が行えます。検査台にうつ伏せで寝ていただき、検出器ホール(筒)に片側の乳房を入れて検査します。撮影は片側5分程度。専属の女性技師が撮影します。

True Beam放射線治療装置

新病院とともに放射線治療装置が最新鋭のTrue Beamに更新されました。定位放射線治療や強度変調放射線治療などの高精度治療を短時間で高精度に施行できるようになりました。

ロボット支援手術

da Vinci Xiサージカルシステム

ダヴィンチシステムは、4本のアームでカメラから映し出される3D画像を見ながら患部を手術していく装置です。最大のメリットは細かな作業を震えをなく確実に行えることで、この特性を生かして出血などを最小限に抑えることができます。

Hugo RAS System four arms

従来のda Vinci Xiに加えHugoを2023年より導入しました。日本での導入です。現在ロボット支援手術は泌尿器科、消化器外科で施行されています。

320列マルチスライスCT装置(2台)

東芝製320列CT『Aquilion ONE』は従来の64chの5倍に相当する、320chのエリアデテックを持ち16cmの範囲を1回転でスキャンすることができます。頭部や心臓などは撮像を動かさず1回転1秒以内で検査を終了することができ小児に対しても鎮静をすることなく検査することが可能となります。また短時間撮影により、大幅な被曝量の低減となります。